

# 鉛筆のよい持ち方

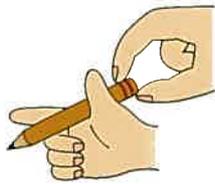


指や手の力がまだ十分でないお子さまにとって、鉛筆をじょうずに持つことは、たいへん難しいことです。お子さまがいやがることのないよう、興味に合わせて、無理のない方法で少しずつ教えてあげてください。

お子さまを「鉛筆のよい持ち方」へと導くには、いくつかの方法があります。ここでは、そのうちの3つをご紹介します。



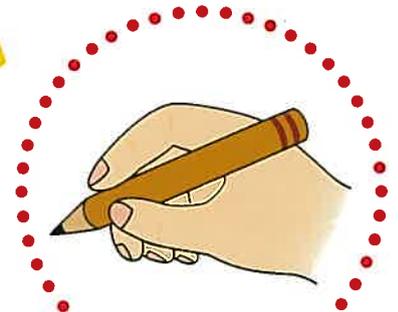
① お子さまの手で上の絵のような形をつくります。



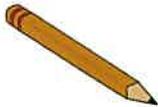
② “にぎった中指”と“親指と人差し指のつけ根”を通るように、おうちのかたが鉛筆を置いてあげます。



③ 親指と人差し指を鉛筆にそえるようにして、にぎります。



図のような鉛筆の持ち方になるよう、おうちのかたが手をそえて、調整してあげてください。



① 筆先が右手前になるようにして、左ななめ奥に向けて、鉛筆を置きます（左手がきき手の場合は、左手前から右ななめ奥に向けて）。



② 親指と人差し指の2本で、鉛筆を真上からつまむように持ちます。



③ おうちのかたが、鉛筆を手前にくりと返し、親指と人差し指のつけ根まで動かしてあげてください。そして、中指を鉛筆にそえます。



① 食事のときに、スプーンの使い方を、にぎりから正しい持ち方へと少しずつ変えていきます。



② じょうずに持てるようになってきたら、スプーンと同じように、鉛筆を持ちます。



③ 手のひらが向こうに、手の甲が手前になるように返します。

鉛筆を無理なく、じょうずに持つためには、**親指と人差し指でものをつまむ力をつける**ことが大切です。次のような方法で、力をつけることができます。



① 中指・薬指・小指をにぎり、**親指と人差し指**で豆などをつまむ。



② 中指・薬指・小指をにぎり、**親指と人差し指**で5cm程度に短くした鉛筆を持ち、紙に絵や字をかく。



## くもんのこどもえんぴつ

お子さまがじょうずに鉛筆を持つのに適した、ちょっと太めで三角形の「こどもえんぴつ」を用意しています。

断面(原寸) 全国の主要書店・文具店・玩具店でお求めください。品切れのときは、フリーコール0120-494615(月～金9:30～17:30 祝日除く)でうけたまわります。

こどもえんぴつ6B  
年齢のめやす：2・3・4歳  
6本セット/長さ12cm

こどもえんぴつ4B  
年齢のめやす：3・4・5歳  
6本セット/長さ15cm

こどもえんぴつ2B  
年齢のめやす：4・5・6歳  
6本セット/長さ17cm

こどもいろえんぴつ  
青・黄・赤・緑・茶・オレンジ  
長さ12cm

こどもえんぴつ  
もちかたサポーター  
2個入り

三角えんぴつホルダー  
3本入り

こどもえんぴつけずり

三角えんぴつキャップ  
6本入り

